

脱炭素先行地域 長野県小諸市

脱炭素先行地域に

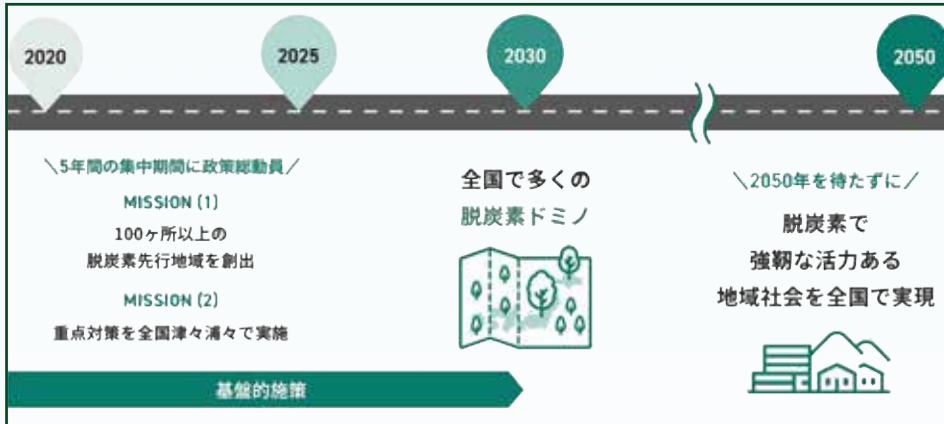
選定されました！

脱炭素先行地域とは…

2020年10月、国は、2050年までに温室効果ガスの排出を全体としてゼロにする、カーボンニュートラルを目指すことを宣言しました。そして、その実現に向けて、意欲と実現可能性が高いところからその他の地域に広がっていく「脱炭素ドミノ」を起こすとしています。この意欲と実現性の高いところとして、少なくとも100個所の脱炭素先行地域を創出し、5年程度の集中期間に政策を総動員して地方創生にも資する地域脱炭素の実現の姿を示し、全国に広げる計画です。

炭素先行地域は、今後脱炭素ドミノを発生させるための「モデル地域」となります。

◆地域脱炭素ロードマップ（2021年6月9日「国・地方脱炭素実現会議」決定）



◆脱炭素先行地域の選定状況（第1回～第3回）



選定されるには…

脱炭素先行地域選定までの流れは、選定を目指す全国の地方公共団体が、環境省の募集に対して計画を提案し、環境省が設置した有識者会議「脱炭素先行地域評価委員会」による評価結果などを踏まえて、評価の高いものが選定されます。

これまで左記のとおり3回の募集・選定が実施されており、合計62件が選定されています。

第1回選定（令和4年4月26日公表）79件の計画提案中26件を選定

第2回選定（令和4年11月1日公表）50件の計画提案中20件を選定

第3回選定（令和5年4月28日公表）58件の計画提案中16件を選定

選定されると…

脱炭素先行地域に選定されると、5年程度にわたり国からの継続的かつ包括的な支援が受けられるようになり、財政支援としての50億円を上限額とした交付金などが用意されています。

選定に向けて…

小諸市ゼロカーボンシティの実現に向けた基本協定を締結しました

2022年12月16日、関係する7者が相互に連携協力を図り、様々な地球温暖化対策の取組みを円滑で効果的に推進することにより、小諸市におけるゼロカーボンシティの実現に寄与することを目的とした基本協定を締結しました。脱炭素先行地域についても、この協定を締結した7者による共同提案を行い選定されたものです。

【協定締結者】

- 小諸市
- 信州大学工学部
- 株式会社シーエナジー
- 株式会社石本建築事務所
- 長野県厚生農業協同組合連合会
- 浅間南麓こもろ医療センター
- 独立行政法人都市再生機構
- 東日本都市再生本部
- 株式会社URリノベーション



脱炭素先行地域の概要

タイトル：みんなでつくる みんなにやさしい ゼロカーボンシティこもろ

～低炭素まちづくりから脱炭素まちづくりへ 持続的で活気ある地方小都市モデル～

計画提案の主要項目

- 主たる提案者：小諸市
- 共同提案者：株式会社シーエナジー／株式会社URリノベーション
国立大学法人信州大学／株式会社石本建築事務所
浅間南麓こもろ医療センター／独立行政法人都市再生機構
- 脱炭素先行地域の対象：小諸市内の都市機能誘導区域全域（0.62km²）
- 主なエネルギー需要家：戸建住宅575戸／商業施設2施設／民間施設190棟
浅間南麓こもろ医療センター／公共施設21施設



取組の全体像

都市再生特別措置法に基づく立地適正化計画で定める「都市機能誘導区域」における施設の集約化に合わせて、太陽光、小水力、バイオガスなどの多様な再エネ電源を活用した一体的なエネルギーマネジメントシステムや地域マイクログリッドを構築するとともに、100%再エネ稼働によるE・Vモビリティシステムを導入することで、これまでのコンパクトシティの取組を発展させ、脱炭素まちづくりを実現します。

また、家庭系・事業系生ごみを利用したバイオガス発電の導入や下水熱等の都市に賦存する未利用熱の活用を促進するなど、行政、市民、市内事業者等が連携して、地域資源と経済の循環の創出を図ります。

主な取組（事業）

- ①太陽光発電、小水力発電、バイオガス発電といった多様な再エネの導入
- ②市庁舎周辺に地域マイクログリッドを構築しエネルギー利用を高度化
- ③既存住宅のZEH（ネット・ゼロ・エネルギー・ハウス）改修
- ④下水熱や温泉排湯といった未利用熱の有効活用
- ⑤デマンドタクシーのE・V化等による脱炭素地域交通ネットワークの構築
- ⑥公用車をE・V化し災害時に移動蓄電池として活用するシステムの構築

今後は…

今後、脱炭素先行地域の取組により、エネルギー利用高度化や、レジリエンス強化を進め、安全安心で利便性の高いコンパクトシティを実現することで、地域の住環境や魅力向上を図り、「まちの賑わい」の創出につなげていくことを目指します。

